



3月号



〈目次〉

特集：動物とボランティア！

- 子猫預かりボランティア …………… 1
- ふれあい訪問活動…………… 2
- ボランティアさんに伺いました
- 里親さがし猫カフェおっぽ …………… 3
- NPO(エヌピーオー)って、何ですか？…………… 4
- 助成金¥活用してみませんか？ …………… 6
- 新潟市内ボランティア・市民活動センターちとばカイワ
…………… 7
- ♪情報BOX♪ ボランティア募集情報…………… 8
- kirarin☆よんコマ劇場

動物を見ると思わず微笑んでしまう、何故だか優～しい気持ちになってしまう。これは動物が持つ力？
殺伐とした環境に育った猫や犬が、優しく暖かく接してもらってみるみる人なつこくなってゆく。
動物と人間、幸せなボランティアのかたちとは？

特集 動物とボランティア！



**新潟市動物愛護センター
子猫預かりボランティア**

生まれて間もない子猫の授乳は3～4時間置き。自力で食事ができる場合でも1日3～5回の給餌が必要だ。動物愛護センターが平成28年度に収容した約800匹の猫のうち、保護したのはおよそ300匹※、その7割は子猫だ。センターの職員では手が回らなくて殺処分せざるを得ない子猫の数を減らそうと、新潟市は平成28年に“子猫預かりボランティア”の募集を開始した。

ボランティアの役割は、子猫が安心して生活できるように環境を整えて、一定期間自宅で預かり、餌やり、トイレの躰、成長記録表の記入、猫が疲れない程度に遊ぶというもの。初年度は19名のボランティアが42匹を、本年度は17件の動物病院の参加を得て、1月現在で合計33の預かり手が136匹の子猫を育てた。戻ってきた子猫のほとんどは、毎月4回開催する譲渡会で新しい飼い主に引き取られていく。

この800匹もの猫たちはどこからやってくるのか？
宇野匠センター所長に伺った。

『一番多いのは糞尿や泣き声に迷惑している住民から持ち込まれたノラ猫の子どもです。餌をやる・やらないで地域のトラブルにもなるため、市は自治会の協力を得て地域猫活動を推進しています』。



地域猫活動とは、地域住民の理解のもとノラ猫を一斉捕獲し、不妊去勢手術を施したのち地域に戻る。戻った猫たちの餌やり、残餌や猫用トイレの管理を地域で行なうという活動。センターが保護するノラ猫がこれ以上増えないためには、地域でもボランティアの協力が欠かせない。

ところで野良の子猫が貰われていくために大切なことがある。それは「人が好きな猫である」ということ。ボランティアから楽しく遊んでもらって、子猫は人間への信頼を培ってゆくのだ。🐾

子猫預かりボランティア ◆猫の週齢：3～8週齢 ◆預かる期間：概ね2～8週間 ◆詳しくはP8の情報BOX参照 ◆問合せ：新潟市動物愛護センター 中央区清五郎343-2 025-288-0017
※残りの500匹は収容した時点でこれ以上の生育は不可能と判断され、殺処分となる。ノラ猫の生育環境はそれほど過酷



新潟市動物愛護協会 ふれあい訪問活動

「ワンワン、ワンワン」。特別養護老人ホームの駐車場に嬉しそうな鳴き声が響き、犬を連れてボランティアが次々と施設の中に入って行く。新潟市動物愛護協会のふれあい訪問活動だ。本日の参加者総勢22人と8匹が控え室に集合、活動準備が整ったら利用者さんが待っている会場に向かって行進だ。

ぐるりと輪になって待っている利用者さんの前を一周した後、膝の上に乗せてもらったり短い手を精一杯出して握手したり、抱っこされて頭を撫でてもらったり。「可愛いねえ」「いい子だねえ」と声があがる。



わんわん大行進!



『動物がストレスを感じていないかが一番大事です。嫌々やっているというのは良くない。利用者さんも楽しいし、犬も楽しいし、飼い主も楽しいでなければ』と、協会会長の獣医師・永松亮一^{ながまつ りょういち}さん。

ふれあい訪問活動は、30年前に新潟市の獣医師会が人と動物の絆や“癒し”に着目したことに始まる。活動には犬の適性が大切で、犬と人がセットで育成講座を受講し、そこで犬の表情や振舞いにストレスサインが出ていないかなどを見極めて適性を判断する。

永松会長も愛犬と一緒に10年ほど活動していたが、高齢になったため2年前に引退させたとのこと。

『動物と一緒に公的なボランティアができることがとても楽しかった。彼女も同じじゃないかな。止めた直後は「なんで置いていくの?」って不満顔でした(笑)』この活動の恩恵に預かる人はまだいる。施設の職員だ。犬を触ったりできなくても、見ているだけで癒されるという。犬力最強なり。🐾

ふれあい訪問活動 ◆開催日：夏と冬を除く月1回・年6回 ◆活動先：市内の特別養護老人ホーム、デイサービスセンター ◆育成講座：座学と実技の全4日間で年1回開催 ◆ほか協会の活動内容：小学校訪問の「ふれあい動物教室」、犬のしつけ方教室、飼い主の特定できないメス猫の不妊助成ほか ◆問合せ：新潟市動物愛護協会事務局 中央区清五郎343-2(新潟市動物愛護センター内) 025-288-0017

「繁殖業者が廃業するので犬の引き取り手を探している。行ってみよう」。18才柴犬を見送りペットロス真っ只中だった神田さんを近所の犬仲間が誘った。犬小屋の扉を開けた途端、わんわんと叫ぶ鳴き声。「連れてってー!!!」って聞こえて思わず引き取った。

連れ帰って来たものの、所かまわずオシッコしたりと躰は全くゼロ。困って参加した市のしつけ方教室がきっかけで、ボランティア犬となった。

ふれあい訪問活動を開始したのは平成24年。次第に年6回の活動では物足りなくなって、他のグループの訪問活動にも参加し始め、現在週1回のペースで活動中。先日めでたく100回目を達成した。

『ほら行くんだよーって言うと、パーツと走ってきてキャリーケースに入るんですよ。楽しいんだと思います。正直言うと、行く前はおっくうだなと思う日も

ボランティアさんに伺いました



ないことはないです(笑)。でも活動すると利用者さんや職員さんがすごく感謝してくださって、それがまたありがたくて。また来たい、来ようって思うんです。200回めざして、健康で1日でも長くいっしょに活動できればいいなあって思います』すばらしい! 🐾

◆神田照子(かんだ てるこ)：西区在住、本活動のほか習字の講師のボランティア活動もしている ◆神田舞(かんだ まい)：メス、12歳、4歳半まで繁殖犬として過ごす、心臓の持病にもめげず張り切って活動中



ボランティアが応援団！ 里親さがし猫カフェおっぼ

昨年11月、新潟県内で初めての“里親さがし猫カフェ”がオープンした。保護猫を譲ってもらいたい方や猫とまったりしたい方をお迎えする民家の一軒家で、滞在時間に応じて利用料金を支払うセルフサービス制のカフェだ。店主の神田弘樹^{かんだ ひろき}さんは、約10年にわたって新潟動物ネットワーク(NDN)※1、あにまるガード※2、どうぶつがかり※3など、さまざまな動物愛護のボランティア活動に携わってきた。

『体が小さい子猫は貰われやすいけど、大きくなると譲渡会では貰われづらくなる。ケージの外で、コタツで丸くなっているところや、じゃれあっている姿を見てもらって、体が大きい子でも貰ってもらえるような場を作りたいと思ったのが、そもそものきっかけです』。

店舗物件が長い間空き家だったため、膨大なゴミの撤去、猫通路のための工事、床や壁の補修など、開店するための改装作業は山積みだった。10年来の親友が見かねてフェイスブックで作業ボランティアを募ったところ、趣旨に賛同して自分にできることがあればと、ボランティアが集まってきた。さながら“おっぼの応援団”だ。動物の殺処分ゼロを願うアナウンサー



の伊勢みずほ^{いせ みずほ}さんもそのひとり。超多忙な中、幾度となく来店してくれて、その様子を自身のブログで取り上げてくれるなど、まるで広報部長のようだ。



桐筆筒の上の置物のような猫はちーちゃん(嫁入り決定)。店主の神田弘樹さんと

『この子たちが貰われていくことは大きな目的ですが、自宅で猫が飼えない人が来店してくれるだけでも、この子たちがケージの外でのびのび過ごせる原資が確保できます。アクリルの板張りから肉球がみえるとか、楽しい仕掛けがいっぱいあるので、アミューズメント的にも楽しんでもらえるはず。猫と過ごす中で、地域猫活動やさくら耳※4などにも関心を持ってもらえたらと思っています』。志が結ぶボランティアの縁、長く長く続いて欲しい。🐾

里親さがし猫カフェおっぼ ◆里親さがし猫：2歳位の兄弟猫(推定)5匹、東港で一斉捕獲された後あにまるガードで保護していた、うち2匹の譲渡決定、同施設から新しい白猫姉妹きたる(H30/1現在) ◆現在、主に土日の開店準備ボランティアを募集 ◆問合せ：中央区三和町1-27 090-8306-9178

※1 新潟動物ネットワーク(NDN)

人と動物との共生を目指して、一人ひとりができることを考え実行していくための会。動物保護施設に収容された犬猫、地域で保護された猫等の里親探しや譲渡会を行っている。動物の保護施設は有さない。

◆連絡先：090-2844-4881(非通知不可、受付時間10-17時) ◆只今、毛布類の寄付を募集中。

※2 あにまるガード

東日本大震災をはじめ、飼い主がいない動物が新しい家族と出会える日を目指し、角田山の麓で一時保護や譲渡活動を行なう任意団体。猫90匹、犬18頭、ウサギ30匹(H30/1現在)等を保護している。

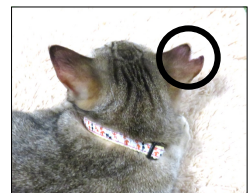
◆連絡先：0256-73-3599(9-18時) ◆里親、清掃や散歩のボランティア、寄付など、さまざまな支援を受付中。

※3 どうぶつがかり

入院や介護などの理由で、高齢者が家族のように一緒に暮らしてきたペットを思うように世話ができなくなった際、有償で動物の世話や散歩、猫トイレの清掃等を行なう。ペット関連の有資格者や動物愛護団体の活動者など、動物が大好きな有志で構成。(相談無料・動物の引取り不可)

◆連絡先：090-3641-0226(10-17時)

※4 さくら耳



地域猫活動で不妊去勢手術を受けた猫の耳の呼称。手術の際、桜の花びらのようにV字カットする。捕獲及び開腹手術の重複を防止するための目印となる。

NPO(エヌピーオー)って、何ですか？

NPO?

NPO法人？



NPOという言葉。

聞いたことはあるし、なんとなくわかってるつもりだけど、はっきりとはわからない方が多いのではないのでしょうか？

新潟NPO協会事務局長の石本さん教えてください！

ー いきなりですが、NPOって何ですか？

Non Profit Organization (ノンプロフィットオーガニゼーション) のことで、日本語にすると民間の非営利組織のことです。具体的には、NPO法人の他、一般社団法人、公益社団法人、社会福祉法人や学校法人、宗教法人、任意団体やボランティアグループ等も含まれます。

ー では、世の中のいろんな非営利の活動をしている団体は、みんな広い意味でNPOの仲間なのですね。ボランティア団体も、社会福祉協議会もそうだったとは・・・。

エヌピーオーが英語なので、なかなか理解されにくいです。日本語に訳しても「非営利」がどんな意味なのかわかりにくいことも一因ですね。

ー 一般的には、NPOとボランティアの違いや意味がよくわかっていない方が多いと思うんです。どう考えればわかりやすいでしょうか？

NPOは活動のための「組織」になります。ボランティアは、「進んで活動に参加する個人」のことを言います。「社協とボランティア」と考えてはどうでしょうか。社協という組織(NPO)の事業は、有給の職員もいるし、多くのボランティアの力を借りて成り立っている。社協に登録しているボランティアグループは団体(組織)ですが、そこで活動しているみなさんは1人1人がボランティアですね。

ー NPOとNPO法人は違いますよね？

そうですね。NPO法人の正式名称は「特定非営利活動法人」と言います。これもわかりにくい原因ですね。

法人格を持つメリットとしては、法人として登記や契約することができることです。また、銀行口座(資産)を開設できますし、行政からの事業委託や指定管理を受けやすくなります。資金調達の選択肢も増え、活動を継続しやすくなります。例えば行政の補助を受ける「地域活動支援センター」※1も任意団体ではできませんが、NPO法人ならできます。

他にも、有給スタッフを雇う場合も、法人格が無い場合は団体の代表者が個人的に雇う形になってしまいますが、NPO法人なら法人として雇用できます。



認定特定非営利活動法人 新潟NPO協会
中央区上所2-2-2 新潟ユニソンプラザ1F
電話：025-280-8750 (平日9:00~18:00)



理事・事務局長 石本 貴之 (いしもと たかゆき) さん

ー NPO法人で活動する方は、みなさんお給料をもらっているのですか？

それは、その法人によっていろいろです。有給のスタッフがいたりする場合もあるし、ボランティアスタッフだけのところもあります。最近では、新潟県内でも就職先にNPO法人を選ぶ学生さんも出てきています。

「非営利」は儲けが出てはいけないということではありません。株式会社なら利益が出れば、それを株主さんに配当金として渡しますよね。NPO法人の場合は、活動や事業で利益が出たら、それを特定の人に分配するのではなく、また自分たちの活動に還元します。活動を継続したり、さらに発展させることもできますよね。

ー 新潟県内のNPO法人はどれくらいあるんですか？ また、法人になるのは難しいのですか？

29年末現在で721あります。そのうち新潟市を拠点にしている法人は277です。

NPO法人を設立するには規定の書類を整える必要があります、そこが大変なところです。新潟市の場合、窓口は市役所の市民協働課になります。申請から登録まで2ヶ月半くらいかかります。

新潟NPO協会に寄せられる相談でも、「法人格を取りたい」「活動の資金・助成金がほしい」というものが結構ありますね。

ー 新潟NPO協会さんは、認定特定非営利活動法人ですよ。この「認定」とはどういうもの？

認定は一定の基準（PST=パブリックサポートテスト）を満たしているNPO法人のことで、新潟県内では14法人あります。一番のメリットは、法人に寄付した人に税制上の優遇があること。つまり税金控除があるため、その法人への寄付が集まりやすくなります。

ー 最後に、石本さんが最近注目しているNPOの分野を教えてください。

私が「活発に動いているなあ」と感じるのは、障がい者アート、アール・ブリュット※2といった分野です。NPO法人アートキャンプ新潟で管理している作品を企業にレンタルしたり、上越にアール・ブリュットサポートセンター（NASC）ができたり、社会の中で目に触れる機会が多くなっていますよね。

※1 地域活動支援センター

障がい者への創作的活動や生産活動の機会提供や、社会との交流の促進をする福祉施設。

※2 アール・ブリュット

「磨かれていない(加工されていない)生(き)のままの芸術」という意味のフランス語。文化的な伝統や流行、教育にとらわれず、独自の発想と方法により制作した作品。

助成金 活用してみませんか？

ボランティア活動にはどうしても掛かってしまう“経費”があって、それをどう捻出しようかと頭を悩ませている団体も多いのではないのでしょうか。本紙では募集期間に合わせてボランティアに関連した助成金情報を掲載していきます。以下のチェックポイントを参考に申請手続きを行い、助成金を獲得してください！！

- ①助成金の対象団体であるか（ボランティア団体は可、NPO法人は不可など）
- ②活動内容が助成金の対象に合致しているか（高齢者、障がい者、子育て支援など）
- ③経費の使途が合致しているか（備品購入、旅費交通費、通信費など）
- ④事業の対象期間がいつか
- ⑤必要な提出書類はなにか（会則、予算書など）
- ⑥応募条件はないか（活動実績、2年連続の助成は不可、他の助成金との重複不可など）

以下は平成29年度に実施した内容をもとに作成しています。

平成30年度の募集期間や助成金額、内容については各問い合わせ先にご確認ください。

募集期間 (予定)	助成事業名 実施団体 連絡先	内容・対象	金額
2～3月 ※決定	わかば基金 支援金部門 NHK厚生文化事業団 Tel03-3476-5955	地域に福祉活動の拠点を設け、高齢者・障がい者等の日常生活支援、社会参加や就労支援等の活動を行なうグループ（任意団体・NPO法人）※他部門2種あり	100万 上限
3～5月	老後を豊かにするボランティア活動資金 助成事業 みずほ教育福祉財団 Tel03-3596-4532	高齢者が主な対象、あるいはスタッフの中核が高齢者の比較的小規模なボランティアグループ（任意団体）※で、継続的に使用される用具・機器類の購入資金を助成 ※老人クラブの活動は不可	10万 上限
4～5月	社会福祉助成金 丸紅基金 Tel03-3282-7591	福祉施設の運営、福祉活動などの社会福祉事業を行う民間の団体（NPO法人）が企画する事業に助成。任意団体の場合は3年以上の実績が必要	200万 上限
4～5月	シニアボランティア活動助成 大同生命厚生事業団 Tel06-6447-7101	シニアのボランティアグループ※1（任意団体・NPO法人）が、高齢者、障がい者・子ども等のボランティア活動を行う際に要する費用を助成 ※1 満60歳以上が8割以上 ※2 他部門2種あり	10万 上限
4～6月	社会福祉助成事業 太陽生命厚生財団 Tel03-6674-1217	ボランティアグループ（任意団体・NPO法人）が在宅高齢者または在宅障がい者等を対象に福祉活動や文化活動を行うために必要な費用または機器、機材、備品等を整備するための費用に対する助成	10～50万
4～5月	県民たすけあい基金助成事業 (平成30年度第2回) 新潟県社会福祉協議会 Tel025-281-5521	県社協及び市町村社協に登録又は所属している団体等（任意団体・NPO法人）で、福祉分野(障がい者、高齢者、子育て等)、災害、地域住民が主体となった地域力向上に直結する活動を対象とする)	10～50万
6月	ボランティア・市民活動助成金 新潟県社会福祉協議会 Tel025-243-4370	新潟市内で地域福祉に関わる自主的かつ継続的なボランティア・市民活動（障がい者、高齢者、子育て等）を行なうボランティアグループ等（任意団体・NPO法人）に助成	10万 上限

新潟市内ボランティア・市民活動センター ちっとはかインフォ

北区

平成30年度
ボランティア登録・保険
3月1日(木)より
受付スタート!

待ってるよー



〒950-3323 北区東栄町1-1-35 豊栄さわやか老人福祉センター内
☎ 025-386-2810 / FAX 025-388-2914

東区

開催します!

東区
ボランティア交流会



3月8日(木) 13:30~ 東区フラザ 多目的ルーム1

わたべ 

〒950-0885 東区下木戸1-4-1 東区役所1F
☎ 025-272-7731 / FAX 025-272-1756

中央区

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪
はじめたい けど、
とボランティア活動に興味のある方
はぜひ **ボラセン**へ。
H30年度の登録・保険加入もお待ちしています。
♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

〒951-8062 中央区西堀前通6番町909 Co-C.G.3F
☎ 025-210-8730 / FAX 025-210-8722

江南区

申込受付中
ボランティアガイダンス
“**絵と手紙**”で
ボランティア
③時 3月6日(火) 13:30~15:30
⑦ 江南区福祉センター 自館

〒950-0155 江南区泉町3-3-3 江南区福祉センター1F
☎ 025-250-7743 / FAX 025-250-7761

秋葉区

平成30年度
情報支援ボランティア講座開催!

- ❖ 手話奉仕員
- ❖ 点字(初級・中級)
- ❖ 音声訳(初級)



目の不自由な方や耳の不自由な方への情報の伝達を行ったり、交流をするためのボランティア講座の開催を予定しています。日程など詳細は、秋葉区ボランティア・市民活動センターまでお問い合わせください♪

〒956-0864 秋葉区新津本町1-2-39
☎ 0250-24-8345 / FAX 0250-23-3322

南区

平成30年度
ボランティア登録
ボランティア保険
3月1日から受付開始
毎年更新です!!
よろしく
お願いします。
田村

〒950-1214 南区上下諏訪木817-1
☎ 025-373-3223 / FAX 025-373-6125

西区

西区の桜といえば
内野小学校
内野小の桜の木は、学生ボランティアが手入れをしていると最近知りました。ボランティアの「見えない活躍」は、もっと身近にたくましくあるのがいいですね。気がつくことのできる人になりたいです。

〒950-2054 西区寺尾東3-14-41 西区役所健康センター棟1F
☎ 025-211-1630 / FAX 025-211-1631

西蒲区

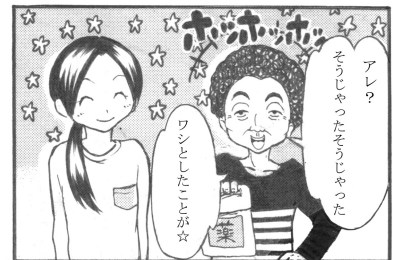
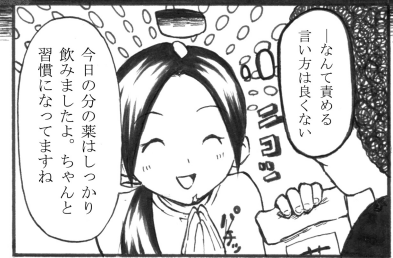
西蒲区ボラセン広報誌
ボラたん!
第2号
H30.3.1発行
みんな見せね!
保険・登録
手続きも
お待ちしております

〒953-0041 西蒲区巻甲4363 巻ふれあい福祉センター1F
☎ 0256-73-3565 / FAX 0256-73-4914

ボランティアの心を探り、共に考えたい。新潟市のボランティア活動の今を知りたい。個性あふれる活動をつなぎたい。こんな時こうしたという現場の知恵を学びたい。誰もが

kirarin☆ よんコマ劇場

責めないで



日本アニメ・マンガ専門学校
卒業生 石田 夏美さん 作

◇お知らせ◇

ボランティア情報誌「きらりん」の30年度の発行は、年4回です。発行月は、6月、9月、12月、3月です。今回は、6月1日(金)発行予定です。

編集後記;不信感の塊だった犬や猫が大事に扱ってもらって警戒心を解いてゆく。「優しい」は強靭な力を持っている。と同時に、警戒させるのも安心させるのも人間なのだなぁと思いました。(うる)

♪ 情報BOX ♪

ほんぽーと市立中央図書館でボラ募集

- ・内容日時 ①配架・書庫整理
返却された本を本棚に戻したり、決められた場所に戻っていない本を正しい場所に戻します。
・休館日等※を除く毎日 9:00~16:30
・第1水曜日(図書整理日) 9:00~11:30
活動前に説明会に参加してください
(第1水曜日または第3日曜日 9:00~10:00)
- ②保存箱作成
貴重な本を保護するための箱を作ります。
・第4水曜日 13:30~15:30
- ・活動場所 ほんぽーと市立中央図書館(中央区明石2-1-10)
- ・問合せ先 025-246-7700 同上 浅妻 あさつま
- ※休館日 第2金曜日、第1水曜日(図書整理日)、年末年始

かわいい子猫預かってみませんか♪

- ・活動内容 動物愛護センターに保護された子猫を譲渡に適した状態になるまで、自宅で飼育して下さる方を募集します。
飼育経験に応じた大きさの猫をお願いしますので、飼育経験は問いません。
授乳期の子猫は1日5回程度、離乳期以降は1日3回を目途に給餌してください。
- ・活動期間 預かる期間は概ね2~8週間です。応相談。
- ・募集条件 自家用車での送迎ができる方、市内在住で自宅で適正に飼育できる方など。
- ・付与貸与 ミルク等の餌は付与、ケージ・食器・体重計などは貸与します。
- ・問合せ先 新潟市動物愛護センター(中央区清五郎343-2)
025-288-0017 こんのひらた 今野・平田

ボランティア募集の情報を掲載しています。掲載をご希望の方は下記の<発行・お問い合わせ先>までご連絡ください。紙面の都合により掲載できない場合もあります。

<発行・お問い合わせ>

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
地域福祉課 ボランティア・市民活動支援センター
〒950-0909
新潟県新潟市中央区八千代1丁目3番1号
新潟市総合福祉会館3階

TEL: 025-243-4370 FAX: 025-243-4376
E-mail: nvac@syakyo-niigatacity.or.jp



ボランティア情報にいがた きらりん 発行の辞 私たちの生活のまわりには、はつきりと見えないけれど大切なものがあります。それって何なの?現場を探検し、市民にとって実用的なボランティア情報誌を発行します。